

平成28年度 第1回窪田空穂記念館運営委員会 会議概要

- 1 日時 平成28年5月18日(水) 午後1時25分～2時40分
- 2 会場 窪田空穂記念館会議室
- 3 委員出席者 上條宏之委員、飯沼秀文委員、折井理智子委員、来嶋靖生委員
坂口登美子委員、石井良治氏(柳沢委員代理)
〈欠席：篠弘委員、窪田武夫委員、渡邊正明委員〉
- 4 事務局出席者 関沢課長、長澤補佐、勝野分館長、高山主任 中村臨時
- 5 会議の概要
 - (1) 開会
 - (2) 運営委員長挨拶(上條委員長)
 - (3) 委員・事務局自己紹介
 - (4) 議事
 - ① 平成27年度事業報告について
 - 短歌講座について
(委員) 近年、加者数は落ち着いてきた。50人程度を維持したい。
 - 企画展「牧水の旅した信濃」について
(委員) よい企画だった。今後の企画展のヒントになるのではないか。
(委員) 講演会については、人の集まりが悪く、考えの至らないところもあった。
 - 「松本の子どもの短歌・2015」について
(委員) 選者からは、短歌数や日程が厳しく、辞退したい旨の相談があった。選者に助手をつけたり、スケジュールの前倒ししたりするなど、工夫が必要である。
子どもの短歌がこれほど集まるのは、全国に例を見ないことなので、ぜひ続けていきたい。
 - 冬季文化講座「冬日ざし」について
(委員) 地元の人物を掘り起こすなど、よい取り組み。小さな本にして残したい
 - 記念館内外通路改修工事について
(委員) 転んで、歯を折った人を目の前で見ていたので、改修はありがたい。
 - ② 平成28年度事業計画
 - 企画展「老いてなお輝く」について
(委員) 空穂は40代から老いを意識しているし、テーマとしては良い。反響もあると思う。土屋文明などの周辺歌人を扱うかどうかはポイントになる。
 - 「松本の子どもの短歌・2016」について
(委員) スケジュール、選考方法などについて、検討したい。
 - 戦争と平和展「茂二郎を奪ったシベリヤ抑留」について
(委員) 篠委員が「戦争と歌人」をテーマに執筆をしている。意見を聞くとよい。

③ 平成28年度管理運営について

○生家の生垣の植え替えについて

(委員) 昨年度から課題となっていたので、対応をしてもらってよかった。

○生家の利用促進について

(委員) 大々的にはないが、個人的なお茶会で利用したい。

(委員) どの団体も高齢化は進んでいるが、周囲に声を掛けてみている。